

年間指導計画表(シラバス)

科目名	国語・ステップアップ国語	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・1年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>(3) 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図ることができる。</p>
使用教科書 副教材等	<p>新編現代の国語(東京書籍)</p> <p>新編言語文化(東京書籍)</p> <p>中学国語をひとつひとつわかりやすく。改訂版(学研プラス)</p> <p>新版 意味から学ぶ 常用漢字(第一学習社)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図ろうとする。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	漢字・語句① 言葉と文① 文学的な文章① 随筆 説明的な文章① 古文 和歌	・授業での行動観察 ・提出課題 ・定期考査等	・授業での行動観察 ・提出課題 ・定期考査等	・授業での行動観察 ・提出課題
	評価点	200点	200点	200点
後期	漢字・語句② 言葉と文② 詩歌 説明的な文章② 文学的な文章② 漢文	・授業での行動観察 ・提出課題 ・定期考査等	・授業での行動観察 ・提出課題 ・定期考査等	・授業での行動観察 ・提出課題
	評価点	200点	200点	200点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	漢字・語句①	4
	5	言葉と文①	4
		文学的な文章①	4
	6	随筆	4
		説明的な文章①	3
	7	古文	8
	8	和歌	4
	9 前期期末考査	1
		前期の学習のまとめ	3
後期	10	漢字・語句②	4
		言葉と文②	4
	11	詩歌	6
		説明的な文章②	6
	12	文学的な文章②	8
		1	
	2	漢文	4
	3 後期期末考査	1
		後期の学習のまとめ	2

5 その他

義務教育段階の国語の学習について不安が残っている生徒のための授業です。高等学校の学習を進める前に、ひとつひとつじっくりと学習し直していきましょう。授業中に配付されるプリントやワークなどの学習活動にコツコツ取り組んでいくことが大切です。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	国語・現代の国語	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・1年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、それらを適切に使うことができる。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わることができる。
使用教科書 副教材等	新編現代の国語(東京書籍) 新版 意味から学ぶ 常用漢字(第一学習社)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、それらを適切に使うことができる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	こそめスープ 水の東西 言葉と生活1 スキマが育む都市の緑と生命のつながり	・授業での行動観察 ・提出課題 ・定期考査等	・授業での行動観察 ・提出課題 ・定期考査等	・授業での行動観察 ・提出課題
	評価点	200点	200点	200点
後期	森で染める人 言葉と生活2 美しさの発見 真の自立とは	・授業での行動観察 ・提出課題 ・定期考査等	・授業での行動観察 ・提出課題 ・定期考査等	・授業での行動観察 ・提出課題
	評価点	200点	200点	200点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	1 自己を見つめる「こそそめスープ」	8
	5	2 他者に出会う「水の東西」	8
	6	3 言葉と生活1	7
	7	4 視野を広げる「スキマが育む都市の緑と生命のつながり」	8
	8		
	9		
		前期期末考査	1
		
		前期の学習のまとめ	3
後期	10	5 社会とかかわる「森で染める人」	8
	11	6 言葉と生活2	8
	12	7 世界とつながる「美しさの発見」	8
	1	8 未来に目を向ける「真の自立とは」	8
	2		
	3		
		後期期末考査	1
		
		後期の学習のまとめ	2

5 その他

この授業では、物事を的確に理解し、表現するための基本となる技能や態度を身に付けることを目標としています。いろいろなメディアの情報を読解し、自分の考えを深める練習をしていきましょう。理解や表現に役立てるため、漢字学習や読書活動も行います。主体的に学習に臨み、実社会に役立つ国語の力を鍛えましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	国語・言語文化	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・1年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 我が国の言語文化に対する理解を深め、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、それらを適切に使うことができる。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わることができる。</p>
使用教科書 副教材等	<p>新編言語文化(東京書籍)</p> <p>新版 意味から学ぶ 常用漢字(第一学習社)</p> <p>評解 新小倉百人一首(啓隆社)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	我が国の言語文化に対する理解を深め、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、それらを適切に使うことができる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	<p>さくらさくらさくら</p> <p>言語活動「『花』といえば『桜』？」</p> <p>古文入門</p> <p>とんかつ</p> <p>折々のうた</p> <p>漢文入門</p>	<p>・授業での行動観察</p> <p>・定期考査等</p> <p>・提出課題</p>	<p>・授業での行動観察</p> <p>・定期考査等</p> <p>・提出課題</p>	<p>・授業での行動観察</p> <p>・提出課題</p>
	評価点	200点	200点	200点
後期	<p>詩</p> <p>羅生門</p> <p>論語</p> <p>伊勢物語</p> <p>漢詩</p>	<p>・授業での行動観察</p> <p>・定期考査等</p> <p>・提出課題</p>	<p>・授業での行動観察</p> <p>・定期考査等</p> <p>・提出課題</p>	<p>・授業での行動観察</p> <p>・提出課題</p>
	評価点	200点	200点	200点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	さくらさくらさくら	4
	5	言語活動「『花』といえば『桜』？」	2
		古文入門	6
	6	とんかつ	7
	7	折々のうた	4
		漢文入門	8
	8		
	9		
			前期期末考査
	 前期の学習のまとめ	3
後期	10	詩	2
		羅生門	10
	11	論語	4
	12	伊勢物語	10
	1		
		漢詩	6
	2		
			後期期末考査
	 後期の学習のまとめ	2
3			

5 その他

言語文化では、古典作品や近代以降の文章を通して、日本の言語や文化について改めて考え、さまざまな活動を通して、自分の考えを表現する力を身に付けてもらいたいと思います。いろいろな時代の作品を読むことで、時間を超えて描かれる普遍的なテーマもあるということに気づくと思います。様々な作品を味わいながら、時代背景、その時の人々の生活、ものの考え方を感じ取りましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	国語・論理国語	単位数	4(前期 2+後期 2)
		学年等	平日登校コース・2年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けることができる。 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わることができる。
使用教科書 副教材等	新 論理国語(三省堂) 新版 意味から学ぶ 常用漢字(第一学習社) 1日10分言語カードリル読む(第一学習社) 1日10分言語カードリル書く(第一学習社) 論理力ワークノートネクスト(第一学習社)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けることができる。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	・論点の整理と内容や構成、論理の展開の把握 ・正しい推論と、主張と論拠の区別 ・論拠に使われる事例の役割や意味の理解 ・文章や論理の構成の把握と主張の説得力を高めるための工夫 ・文章の信頼性の吟味と情報の分析 ・暗黙の了解や隠れた前提(含意)の把握を通じた批判的思考	・授業中の観察 ・提出課題 ・定期考査等	・授業中の観察 ・提出課題 ・定期考査等	・授業中の観察 ・提出課題
	評価点	200点	200点	200点
後期	・具体と抽象の関係の把握と情報の関連付け ・批判的に検討を通じた作品や文章の批評 ・必要な情報を関連付け、自分なりの解釈の形成 ・自分の考えの相対化(捉えなおし)と解釈や考えの深化	・授業中の観察 ・提出課題 ・定期考査等	・授業中の観察 ・提出課題 ・定期考査等	・授業中の観察 ・提出課題
	評価点	200点	200点	200点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	論点の整理と内容や構成、論理の展開の把握	10
	5	正しい推論と、主張と論拠の区別①	6
		正しい推論と、主張と論拠の区別②	6
	6	論拠に使われる事例の役割や意味の理解	10
		前期中間考査	1
	7	文章や論理の構成の把握と主張の説得力を高めるための工夫	9
		文章の信頼性の吟味と情報の分析①	6
	8	文章の信頼性の吟味と情報の分析②	6
		暗黙の了解や隠れた前提(含意)の把握を通じた批判的思考	11
	9	前期期末考査	1
		前期の学習のまとめ	4
後期	10	具体と抽象の関係を踏まえて、文章の妥当性を吟味する	10
		具体と抽象の関係を踏まえて、複数の論点や情報を関係づける	6
	11	文章の批判的な検討	6
		論理的な文章の批評	10
	12	後期中間考査	1
		必要な情報を関連付け、考えを広げたり深めたりする	10
	1	論理的な文章の内容解釈を深める	6
		新たな観点から自分の考えを深めたり、捉えなおしたりする	4
	2	卒業論文を書く	12
		後期期末考査	1
3	後期の学習のまとめ	4	

5 その他

論理国語は、科目名の通り、論理的に読み、書き、そして考える力を伸ばすための科目です。そのためには、誰かに代わりに読んだり書いたり考えたりしてもらうのではなくて、自分で読み、書き、そして考えることが必要になります。受験に対応するために大量に読み書きすることが大前提です。選択科目ですので、しっかり読み書きすることを通して、必修科目である「現代の国語」では身に付けることのできなかった高度な言語運用能力と思考力を身に付けましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	国語・文学国語	単位数	4(前期2+後期2)
		学年等	平日登校コース・3年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。</p> <p>(2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わることができる。</p>
使用教科書 副教材等	<p>高等学校 標準文学国語(第一学習社)</p> <p>キーワードの卵(尚文出版)</p> <p>ちくま小説入門 改訂版(筑摩書房)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	第Ⅰ部 現代の小説(一) 現代の詩 現代の小説(二) 随想〈芸術〉 近代の小説(一) 戦争と文学(一)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の観察 ・提出課題 ・定期考査等 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の観察 ・提出課題 ・定期考査等 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の観察 ・提出課題
	評価点	200点	200点	200点
後期	第Ⅱ部 現代の小説(三) 近代の小説(二) 近代の詩 現代の小説(四) 戦争と文学(二) 創作をする	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の観察 ・提出課題 ・定期考査等 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の観察 ・提出課題 ・定期考査等 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の観察 ・提出課題
	評価点	200点	200点	200点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	現代の小説(一)	12	
	5	現代の詩	15	
	6			
	7	現代の小説(二)	15	
	8	随想<芸術>	15	
		近代の小説(一)		
	9	戦争と文学(一)	8	
		 前期期末考査	1
		前期の学習のまとめ		4
後期	10	現代の小説(三)	20	
	11	近代の小説(二)	15	
	12			
	1	近代の詩	15	
		現代の小説(四)		
	2	戦争と文学(二)	15	
		創作をする		
		 後期期末考査	1
	3	後期の学習のまとめ		4

5 その他

文学国語では、近代以降の小説や詩、随想などの文学的な文章を読み、読み取った内容を基に自分の考えを深め、適切に表現することに取り組みます。文章を深く読み味わうことで豊かな表現力を身につけ、自分で題材を選び、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように吟味して書くことが必要になります。自分で読み、書くことで自分のものの見方や感じ方、考え方を深めるとともに、言葉がもつ価値への認識を深めましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	国語・古典探究	単位数	4(前期2+後期2)
		学年等	平日登校コース・2年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 生涯の社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の伝統的な言語文化に対して深く理解することができる。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典を通した先人のものの見方や考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わることができる。</p>
使用教科書 副教材等	<p>新編古典探究(東京書籍)</p> <p>新精選古典文法三訂版(東京書籍) 必携 新明説漢文(尚文出版)</p> <p>読んで見て聞いて覚える 重要古文単語 315 四訂版(桐原書店)</p> <p>新成古典 大学入学共通テスト対策新装二版(尚文出版)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	生涯の社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の伝統的な言語文化に対して深く理解することができる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典を通した先人のものの見方や考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	<p>説話に親しむ 故事と小話</p> <p>随筆を読む 唐詩</p> <p>作り物語を読む 史記を読む</p> <p>日記を読む 文</p> <p>和歌の世界</p>	<p>・授業での行動観察</p> <p>・定期考査等</p> <p>・小テスト</p>	<p>・授業での行動観察</p> <p>・定期考査等</p> <p>・提出課題</p>	<p>・授業での行動観察</p> <p>・提出課題</p>
	評価点	200点	200点	200点
後期	<p>随筆を味わう 小話を読む</p> <p>歌物語を楽しむ 史記を味わう</p> <p>歴史物語を読む 中国の思想</p> <p>作り物語を味わう 日本の漢詩文</p>	<p>・授業での行動観察</p> <p>・定期考査等</p> <p>・小テスト</p>	<p>・授業での行動観察</p> <p>・定期考査等</p> <p>・提出課題</p>	<p>・授業での行動観察</p> <p>・提出課題</p>
	評価点	200点	200点	200点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	説話に親しむ	8
	5	故事と小話	7
	6	随筆を読む	7
		唐詩	5
		作り物語を読む	5
		前期中間考査	1
	7	史記を読む	16
		日記を読む	8
	8	文	4
	9	和歌の世界	4
	前期期末考査	1	
	前期の学習のまとめ	4	
後期	10	随筆を味わう	8
		小話を読む	8
	11	歌物語を楽しむ	8
	12	史記を味わう	8
		後期中間考査	1
		歴史物語を読む	10
	1	中国の思想	12
	2	作り物語を味わう	5
		日本の漢詩文	5
		後期期末考査	1
3	後期の学習のまとめ	4	

5 その他

受験で古典が必要な人は、授業や各自の予習・復習の中で、古文単語や古典文法、漢文の句形や重要語など、基本事項を身に付け、多様な文章で問題演習に取り組みましょう。また、古典を読み進める中で、時代とともに変化してきた日本の文化を味わい、現代にも通じるものを見方を感じ取りましょう。前期2単位、後期2単位を修得することで、古典探究の単位修得完了となります。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	国語・実用国語	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・4年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 国語の表現のさまりや慣用句、漢字などの実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、それらを適切に活用する力を身に付けることができる。</p> <p>(2) 実社会における多様な表現を論理的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができる。</p>
使用教科書 副教材等	<p>新編現代の国語(東京書籍)</p> <p>パスポート国語必携<五訂版>(桐原書店)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	国語の表現のさまりや慣用句、漢字などの実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、それらを適切に活用する力を身に付けることができる。	実社会における多様な表現を論理的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	文章の整え方 教養試験対策 原稿用紙の使い方 作文・小論文の書き方 情報を読み取る 調査して表現する	・授業での行動観察 ・提出課題 ・小テスト	・授業での行動観察 ・提出課題 ・小テスト	・授業での行動観察 ・提出課題
	評価点	100点	100点	100点
後期	敬語の使い方 手紙文の書き方 葉書の書き方 小説の内容をまとめ、鑑賞文を書く	・授業での行動観察 ・提出課題 ・小テスト	・授業での行動観察 ・提出課題 ・小テスト	・授業での行動観察 ・提出課題
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	文章の整え方	8
	5	教養試験対策	4
	6	原稿用紙の使い方	2
		作文・小論文の書き方	7
	7	情報を読み取る	4
		調査して表現する	8
	8		
	9	前期の学習のまとめ	2
後期	10	敬語の使い方	4
		手紙文の書き方	10
	11		
		葉書の書き方	10
	12		
	1	小説の内容をまとめ、鑑賞文を書く	9
2			
	3	後期の学習のまとめ	2

5 その他

実用国語では、これまでの授業で学んだ技術や知識を再確認し、実生活の中で生かしていく力を深めることを目指します。語彙や漢字は、小テストを行いますので、コツコツと学習を進めましょう。定期考査は実施しません。作品や発表等で評価します。

国語が関与する分野は多岐にわたり、生活とは切り離し難いものです。国語を使って自分自身と対話したり、他者とコミュニケーションを図ったりして、生活をより豊かにしていきましょう。